

## 第 2 回みんなで支える森林づくり上伊那地域会議を開催しました。

長野県森林づくり県民税（いわゆる森林税）を財源とした施策について地域住民の代表等の皆さんから意見をいただくことを目的に、標記会議を 11 月 1 日（火）に開催しました。

今回は本年度 2 回目となることから、森林税を活用して集約化（団地化）と森林整備（間伐）を実施した飯島町田切地区と間伐材利用の環モデル事業により間伐材の供給から利用まで連携した取組を行った駒ヶ根市の住宅建築現場を視察しました。

2 箇所の現地調査後、伊那合同庁舎に戻り、先日公表された森林税に関するアンケート結果を報告し、これらを踏まえて委員各位からご意見をいただきました。

意見交換の中では森林税の継続について理解を示す意見が多く聞かれましたが、「森林税の PR については、対象とする世代を絞るなど効果的に行うべき」「新しい取組を求める意見が多いことから事業のバージョンアップが必要」「松くい虫・野生鳥獣対策にも森林税を活用すべき」といった意見などが出されました。

地域会議でいただいたご意見は、県庁の担当課である森林政策課へ報告するとともに、森林税に関して県全体の意見を聞く場である「県民会議」へ伝えます。



森林税を活用した間伐現場の視察  
（飯島町田切地区）



森林税を活用した間伐現場の視察  
（飯島町田切地区）



住宅建築現場の視察  
（駒ヶ根市）



意見交換の様子  
（伊那合同庁舎）